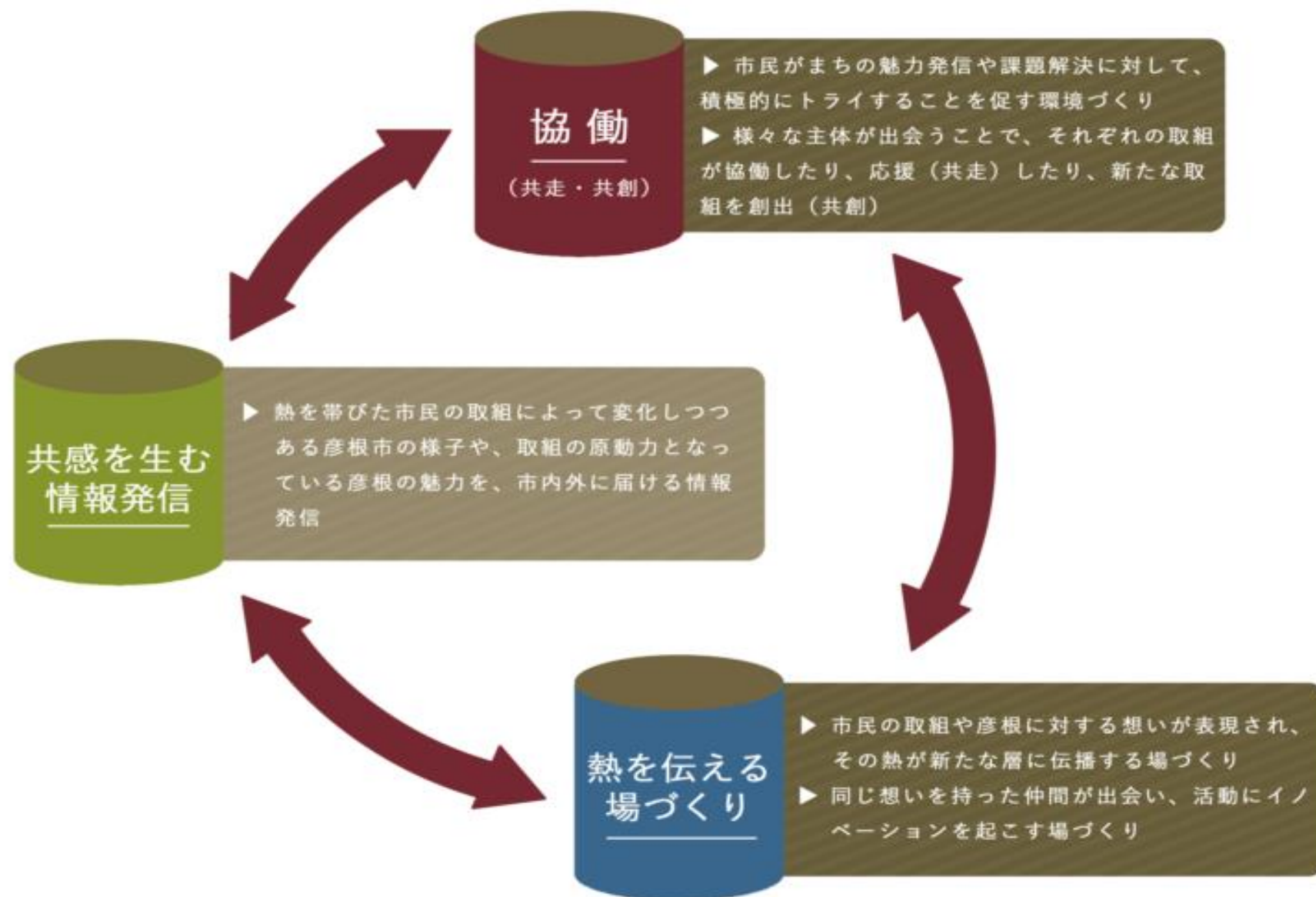


2025年度 彦根市シティプロモーション戦略推進委員会 事業計画



彦根市シティプロモーション戦略の柱



彦根市シティプロモーション戦略の新たな展開

1. 「感謝・応援」を発信／受信できる仕組みの構築

～「推奨意欲」「参画意欲」を後押しする「感謝・応援意欲」の向上にフォーカス～

「まちを良くする活動に関わる人」に留まらず、彦根市の未来に関わる全ての人・団体などに対して、市民がそれぞれの形で「感謝」や「応援」の気持ちを表現し、伝えられる仕組みを構築することで、市民がまちの課題解決に取り組む意欲（参画意欲）や、市民がまちの魅力を積極的に発信する意欲（推奨意欲）の向上を図ります。（8.「第2期戦略の目標」参照）

2. シティプロモーションの認知度向上（積極的な広報展開）

～より多くの市民に「彦根市のシティプロモーション」を知ってもらう～

年齢、性別、立場などの違いや、まちづくりなどに対する意欲の差に関わらず、一人でも多くの市民に、シティプロモーションに関わっていただくために、分かりやすい取組の展開やメッセージで、本市のシティプロモーションが目指すビジョンを広めます。

3. 市内の団体等との連携強化

～「彦根を良くしたい」という団体が相互にささえ合える関係つくる～

市内の団体等の活動に積極的に関わり連携を図ることで、多様な主体が彦根市のシティプロモーションに参画できるネットワークを構築します。

4. 彦根市シティプロモーション戦略推進委員会の役割を明確化

彦根市シティプロモーション戦略推進委員会が、多様な主体によるシティプロモーション活動のコーディネート組織であることを明確にし、発信します。

5. 市役所職員によるシティプロモーションの強化

庁内プロジェクトチームによる本戦略の推進を強化するとともに、プロジェクトチームメンバー以外の職員に対しても、市職員として取り組むべきシティプロモーションのあり方を周知し、全庁的にシティプロモーションに取り組みます。

☆ 第2期戦略の目標： 市民の「感謝（応援）意欲」の向上

<キーメッセージ>

ちっちゃい ありがとうを、いっぱい つたえよう

1. 企画・サポートグループ事業

－「伝わる」を考える

■ 事業概要

令和4年度に開催した市民オープン座談会「らぶひこ会議」から出たアイデアを基に、令和5・6年度はまち歩きを実施し、「地元
にふれあえるまちマップ（デジタルマップ）」を作成した。

令和7年度は、まち歩きの経験を活かし、他団体（滋賀大学、平和堂、近江鉄道、県等）と連携しながら、地元の人に彦根の良さに気づいてもらうため、「彦根の魅力の地を巡る『モデルプラン』」を完成させる。

併せて、「地元にふれあえるまちマップ」の情報が多くの人に伝わるように、常設・特設兼用の展示パネルを製作して街なかやイベントで展示するほか、SNSを活用して同情報を発信していく。

■ スケジュール（イメージ）

- 5月頃から 展示パネルの製作
- 7月26日(土)「サマーナイトフェスティバル」におけるパネル展示等
- 8月頃から 『モデルプラン』企画スタート
- 10月頃 「ひこねいろ文化祭」におけるパネル展示等
- 2月頃 『モデルプラン』体験会の実施

■ 戦略の柱における位置づけ「協働」

市民がまちの魅力発信や課題解決に対して、積極的にトライすることを促す環境づくり

■ 期待される効果

地元の人を巻き込んで『モデルプラン』を企画することで、彦根の魅力発信に関わる人を増やす。

※期待される向上意欲： 推奨意欲・参画意欲・感謝（応援）意欲

■ 目標

『モデルプラン』体験会への参加者 20人

■ 経費

費目		金額
消耗品費	常設・特設兼用の展示パネル 製作用品（ボード等）	70,000円
印刷製本費	常設・特設兼用の展示パネル 用の写真印刷代（大判印刷）	30,000円
合計		100,000円

2. 情報発信グループ事業

－① 市民ライターによる魅力発信

■ 事業概要

◆市民ライター講座の実施（年2回）

- ・新しい市民ライターを募集
- ・記事の書き方や取材の仕方等について講座を受講
- ・掲載記事は、各種SNSで発信

◆市民ライターによる取材・note掲載

- ・講座終了後も引き続き、記事を書きたい受講生に対するサポート及びnote掲載
- ・掲載記事は、各種SNSで発信

■ スケジュール（イメージ）

7月：広報ひこね7月号、チラシにて受講生募集

8月初旬：第1回市民ライター講座実施

8月下旬or 9月初旬：第2回市民ライター講座実施

※記事提出後、継続して記事作成いただける方や2020年度～2024年度受講生からの記事作成は随時受付

■ 戦略の柱における位置づけ「共感を生む情報発信」

熱を帯びた市民の取り組みによって変化しつつある彦根市の様子や、取り組みの原動力となっている彦根の魅力を、市内外に届ける情報発信

■ 期待される効果

- ・シティプロモーション公認の市民ライターを増加・育成させることで、ライターの活動の裾野を広げる、幅広い情報発信の機会を創出
- ・市民ライターを「彦根の魅力を自発的に発信できる人、シティプロモーションのコアメンバーとなりえる人」と位置づけ、幅広く、多様な目線での「彦根の魅力」の発信機会を増やすとともに、シティプロモーションの一役を担う仕組みを構築

※期待される向上意欲：推奨意欲・参画意欲・感謝（応援）意欲

■ 目標

新規ライター 10人＋過去受講者の継続した参加

■ 経費

費目		金額
使用料	講座会場使用料	20,000円
	合計	20,000円

2. 情報発信グループ事業

－② 市民フォトグラファーによる魅力発信

■ 事業概要

◆スマホフォト講座の実施（年1回）

・新しい市民フォトグラファーを募集

・座学による写真撮影のコツを受講し実践

◆市民フォトグラファーによる写真を通じた彦根の魅力発信

・特定のハッシュタグ（#goodrootshikone）など一定のルールを決めて、SNSに投稿

・投稿写真は、各種SNS で発信

■ スケジュール（イメージ）

10月：広報ひこね10月号、チラシにて受講生募集

11月：スマホフォト講座の実施
（例年11月頃に開催）

※受講後、継続して写真の投稿をいただける方や、2021年度～2024年度受講生からの写真投稿は随時受付

■ 戦略の柱における位置づけ「共感を生む情報発信」

熱を帯びた市民の取り組みによって変化しつつある彦根市の様子や、取り組みの原動力となっている彦根の魅力を、市内外に届ける情報発信

■ 期待される効果

- ・スマホフォト講座を開催し、シティプロモーション公認の市民フォトグラファーを増加・育成させることで、フォトグラファーの活動の裾野を広げる、幅広い情報発信の機会を創出
- ・市民フォトグラファーを「彦根の魅力を自発的に発信できる人、シティプロモーションのコアメンバーとなりえる人」と位置づけ、幅広く、多様な目線での「彦根の魅力」の発信機会を増やすとともに、シティプロモーションの一役を担う仕組みを構築

※期待される向上意欲： 推奨意欲・参画意欲・感謝（応援）意欲

■ 目標

講座参加者 10人

■ 経費

費目		金額
消耗品費	講座開催用品、取材用品等	5,000円
使用料	講座会場使用料	10,000円
合計		15,000円

2. 情報発信グループ事業

ー③ SNS強化、パネル展等による情報発信

■ 事業概要

・タイムリーな情報発信の

実施



note

GoodRootsHIKONE

・情報発信の強化をシティプロモーション戦略推進委員会の共通認識として各グループの活動報告をnoteにて活発に実施（毎週or隔週でグループの輪番制で記事作成）

・各グループの活動の情報発信を行いやすいようにSNS担当者を選出し、SNS担当者が中心となって活動報告を行う

※シティプロモーションの認知度向上のため活動報告の発信を習慣づけるようにする。

- スケジュール（イメージ）
- 「パネル展示」
- 1～2月：各グループ準備
- 3月号：広報ひこね掲載
- 3月初旬：プレスリリース
- 3月中旬～4月中旬：開催 ※ビバシティと要相談

- 戦略の柱における位置づけ「共感を生む情報発信」
- 熱を帯びた市民の取り組みによって変化しつつある彦根市の様子や、取り組みの原動力となっている彦根の魅力を、市内外に届ける情報発信
- 期待される効果
- ・彦根市シティプロモーション戦略推進委員会の活動やシティプロモーションを幅広く情報発信するために各種SNSを活用
- ・各グループの活動報告をnoteにて発信（記事作成は各グループで作成）
- ※期待される向上意欲：推奨意欲・参画意欲・感謝（応援）意欲

- 目標
- 登録者数 延べ1,400人
- ※【参考】令和5年4月9日時点 延べ1,252人（X・Instagram・Facebook・note・YouTube・LINE）

■ 経費

費目		金額
使用料	パネル展示施設使用料（ビバシティ彦根）	50,000円
合計		50,000円

1. 熱を伝える場づくりグループ事業

－①「ひこねいろ文化祭」

■ 事業概要

開催日時：令和7年10月上旬（予定）

開催場所：荒神山公園とその周辺

対象：彦根市に関わる人々/2500人を想定

- ▶2022年度から行っている「ひこねいろ文化祭」を継続して開催する
- ▶今年度も彦根に関わる人々を中心とした、ステージや模擬店などを募集する
- ▶また（一社）滋賀県造園協会北地区等主催の「グリーンフェア」と同日開催で行い、より多くの人に集まっていただく
- ▶他グループと連携して「ありがとう」に関する企画、委員会の広報も継続して行う
- ▶市内の団体からボランティアの当日スタッフを募集する

■ スケジュール

5 月・6 月：企画の決定

～8 月：参加団体の募集、決定/告知準備

9 月：告知

10月13日：開催日

■ 戦略の柱における位置づけ「熱を伝える場づくり」

市民の取組や彦根に対する想いが表現され、その熱が新たな層に伝播する場づくり

■ 期待される効果

彦根市に関わる有志の人々にステージ、出展などに積極的に参加してもらうことで、多くの人々の取組、想いを参加者に知ってもらえる
参加者は気軽に楽しく、彦根に関わる人々の想いに触れることができ、有志の人々を応援したり感謝したりする意欲が生まれる

※期待される向上意欲： 推奨意欲・参画意欲・感謝（応援）意欲

■ 目標

ひこねいろ文化祭開催に関わる人々 100人
ひこねいろ文化祭の来場者数 2500人

■ 経費

費目		金額
報償費	音響・チラシデザイン謝礼	40,000円
消耗品費	企画用製作物	15,000円
印刷製本費	告知物印刷代、企画用印刷物印刷代、展示物作成	20,000円
食糧費	当日の昼食代	20,000円
保険料	イベント保険	15,000円
委託料	当日の駐車場警備	90,000円
合計		200,000円

1. 熱を伝える場づくりグループ事業

－②「ひこねいろカルタ普及事業」

■ 事業概要

- ▶「ひこねいろカルタ」をより多くの人に知ってもらうことを目的とする
- ▶ひこねいろカルタ（Small）を用いた出張授業及びカルタ大会を行う
- ▶市内等で開催されるイベントで、ひこねいろカルタ（Big）を持っていき、体験してもらう
- ▶貸出しの申請がされた際には、その趣旨や目的を検討の上、貸出しする

■ スケジュール

5月～9月：市内等のイベントに出展

10月上旬：ひこねいろ文化祭に出展

11月～：ビバシティ彦根でのひこねいろカルタ大会を開催

■ 戦略の柱における位置づけ「熱を伝える場づくり」

市民の取組や彦根に対する想いが表現され、その熱が新たな層に伝播する場づくり

■ 期待される効果

今の彦根を表すものを札にした「ひこねいろカルタ」を通して、彦根の良さを振り返ってもらう。楽しく遊びながら、彦根のことについて考える機会、話す機会を提供する

※期待される向上意欲：推奨意欲・参画意欲・感謝（応援）意欲

■ 目標

ひこねいろカルタで遊ぶ人々 200人
（ひこねいろ文化祭150人、カルタ大会1回（50人×1回））

■ 経費

費目		金額
消耗品費	企画用製作物	50,000円
	合計	50,000円